

2020年度春季大会プログラム 1/2

A会場 座長 長崎裕司	B会場 座長 加藤盛夫	C会場 座長 佐藤達雄
A1: ドローンリモートセンシングにおけるRTK-GNSS高精度測位とその活用 ○官森林・中野恵子・趙元在(農研機構革新工学セ)・深見公一郎・大段秀記・高橋仁康(九州農研)	B1: 稲木干し(はしがけ)が水稻品質に与える影響について(続報) ○庄司浩一(神戸大)	C1: 野菜畑における多年生雑草の物理的防除技術の開発(第2報) ○大森弘美・鈴木渉(農研機構革新工学セ)
A2: ドローン空撮画像によるサトウキビの生育診断 ○上地涼子・鹿内健志(琉球大)・官森林・深見公一郎(九州農研)	B2: 水稻の葉の光合成速度をトランスクリプトームから予測する ○安達俊輔(茨城大)・本田爽太郎(農工大)・大久保智司(農工大)・鹿島誠(青山学院大)・Nan Su San(農工大)・Anotai Nakkasame(農工大)・齊藤大樹(JIRCAS)・大川泰一郎(農工大)・永野惇(龍谷大)	C2: 帰化アサガオ類の徹底防除が可能な大豆除草剤施用体系 ○牛尾昭浩・杉本琢磨・藤本啓之・榎悦朗(兵庫農総セ)
A3: UAVによる業務用キャベツの生育モニタリング ○渡辺翔史・岡山毅・小松崎将一(茨城大)	B3: 部分浅耕一工程播種導入によるムギ類・ダイズ低収産地からの脱却 ○川村富輝・福原光太郎(福岡県飯塚農林事務所田川普及指導センター)	C3: 北海道東部における低投入不耕起型草地管理による土壌および草地植生への影響 ○佐々木章晴(北海道大)
討論	討論	討論

A会場 座長 鈴木尚俊	B会場 座長 深見公一郎	C会場 座長 山口恭弘
A4: バレイショ収穫時における土塊の発生状況-土塊発生が多い場所を特定する- ○辻博之・津田昌吾(農研機構・北農研)・今田伸二(鹿追町農業協同組合)	B4: 寒冷地南部における大規模水田輪作スマート農業一貫体系の実証-自動運転トラクタと有人トラクタとの協調作業について- ○加藤仁・山本亮・建石邦夫・関正裕(農研機構中央研)	C4: 防鳥ネットおよび水系によるハス田における鳥害防止効果について ○小松崎将一(茨城大)
A5: 重粘土水田圃場転換畑における籾殻焼却灰を疎水材とした補助暗渠の通水性 ○関矢博幸・澁川洋(中央農研)	B5: 寒冷地南部における大規模水田輪作スマート農業一貫体系の実証-自動操舵システムの載せ替え利用について- ○加藤仁・建石邦夫・山本亮・関正裕(農研機構中央農研)	C5: 積雪の沈降力によるワイヤーメッシュ柵の損壊機序 ○藤本竜輔(農研機構東北農研)・千本木洋介(南会津町)
A6: 長ネギ階級選別作業の改善に向けた選別補助器具の検討 ○菊池豊(農研機構革新工学センター)・田中宏明(農研機構本部)・深山大介・建石邦夫(農研機構中央農研)	B6: ロボットトラクタによるバレイショ栽培の無人作業の実証 ○佐藤禎稔・藤本与・船引邦弘(帯広畜産大)・横山和寿・黒田晃史・岩瀬卓也・枚田士郎(ヤンマーアグリ(株))	C6: 南西諸島域におけるドローンを活用した省力的なゾウムシ類防除技術の開発 ○深見公一郎・高橋仁康・官森林・市瀬克也(九州農研)
A7: 普通ソバの種子処理による湿害軽減技術の検討 ○吉田諒子・佐々木大・倉内伸幸・加藤太・石川稔彦(日本大学)	B7: トラクタを利用したカンキツ抜根作業の省力化~振動式サブソイラによる抜根抵抗力と作業能率~ ○国立卓生(西日本農業センター)	C7: RFID受信対応体重自動計測装置開発(第3報)とAIを用いた個体管理技術開発 ○市浦茂(岩手大学大学院)・森智洋・堀口健一・片平光彦(山形大)
討論	討論	討論

学術賞・学術奨励賞・地域貢献賞授賞

- G1: (学術賞)九州・沖縄地域における圃場の土壌物理性解析に基づく土地利用型作物栽培の省力・低コスト化技術の研究 深見公一郎 (農研機構九州沖縄農業研究センター)
 G2: (学術奨励賞)暖地における加工用ハウレンソウ刈取再生栽培法の開発 鈴木崇之 (農研機構九州沖縄農業研究センター)
 G3: (優秀地域貢献賞)長野県の野菜栽培における機械化作業技術の開発と生産地への普及 鈴木尚俊 (長野県野菜花き試験場)

ポスター発表

- P1: 気候変動対応型農業としての不耕起とカバークロープの利用 ○ゴンインティン・李沛然(東京農工大)・坂上伸生・小松崎将一(茨城大)
 P2: 収穫支援用電動運搬台車の開発 ○服部圭一郎・川口裕人・中村篤人・飯田賢一(奈良工専)・東井君枝・西本登志(奈良農研)
 P3: 高温登熟下のスプリンクラー散水による玄米外観品質低下の抑制効果 ○堀心佑・浅木直美(茨城大)
 P4: 茨城県南部の農耕地における放射性セシウムの挙動 ○李沛然・ゴンインティン(東京農工大)・小松崎将一(茨城大)
 P5: 茨城県南部の有機稲作におけるカバークロープの効果について ○松岡拓志・浅木直美・小松崎将一(茨城大)
 P6: 中山間地域農業における電気軽トラック利用の可能性-GISを用いた消費電力量推定- ○坂巻光洋・田島淳(東京農大)
 P7: 乗算優占度を用いたロボット除草後の雑草植生と作業性の評価 ○鈴木大翔・帖佐直・東城清秀(東京農工大)

公開テーマセッション:都市近郊農業における鳥獣害の課題と対策

- 司会:竹内正彦
 挨拶:茨城県農林水産部農村計画課
 T1-1: 千葉県における防護柵によるイノシシ被害対策とその問題点(最近のイノシシの情勢と都市での対策の課題) ○松村広貴・河名利幸・赤山喜一郎・大谷徹(千葉農林総研)・植松清次(東京農工大学)・斎藤昌幸(山形大)・百瀬浩(農研機構)
 T1-2: 中型動物対応電気柵「楽らくん」の開発および錯誤捕獲を解消したアライグマ専用捕獲器「ラクーンキューブ」の開発 ○小川倫史・湯村英明(埼玉県農技研)
 T1-3: 都市近郊農業における鳥害と対策の課題-霞ヶ浦周辺のレンコン田におけるカモ対策の事例- ○山口恭弘(農研機構中央研)・小田谷嘉弥(我孫子市鳥の博物館)
 T1-4: ドローンを活用した野生鳥獣調査及びドローンを活用した円滑な捕獲・利活用システムの開発について ○佐々木政聡(㈱スカイシーカー)
 総合討論

2020年度春季大会プログラム 2/2

A会場 座長:鈴木 崇之	B会場 座長:荒木 肇	C会場 座長:鹿内武志
A8: 野菜用の半自動移植機を利用したカンショ苗の移植方法の開発 - 紙テープを利用した曲げ苗製造方法の検討 - ○松尾健太郎・渡辺輝夫・落合将暉(九冲研)	B8: 軟弱野菜のハウス栽培でのカバークロープ利用による土壌の変化 ○李振瑞・小松崎将一(茨城大)・齋藤竜馬(アイグリ株式会社)	C8: 自動運転田植機の作業能率評価 ○古渡拳人・大和田興・福田弥生・檜村英一(茨城農研)・建石邦夫(中央農研)
A9: 水田の畑作固定による畑地化促進とキャベツ・タマネギの収量性への影響 ○北澤 健・猪田有美・蓮川博之(滋賀農技振セ)・山下 悟(滋賀県甲賀農業農村振興事務所)	B9: ダイズ圃場への大麦リビングマルチ導入が土着天敵およびダイズ害虫の個体群動態に与える影響 ○本林隆・服部混平・清田佳純(東京農工大学FSセンター)	C9: 有人-無人協調作業の導入による作業時間の短縮効果 ○吉田邦彦・石井耕太・木村義彰・梶山 努(道総研中央農試)
A10: 群馬県におけるハウレンソウの収穫調製作業の実態と新型軟弱野菜調製機の現地適応性 ○前田宏美・原 昌生(群馬県農技セ)・木村愛実(群馬県立農林大)・小林有一(農研機構革新工学セ)・山本聡史(革新工学セ、現秋田県立大)・谷口優太((株)クボタ)・仲谷章一((株)クボタ、現(株)斎藤農機製作所)・澁谷 透・本間 功((株)斎藤農機製作所)	B10: 踏込温床の発熱効果と廃床のトマト青枯病に対する抑制効果について ○岡島 護・根本大輔・市川 純・中島雅己(茨城大)	C10: ISOBUS対応トラクタデータを利用した圃場評価の検討 ○奥水美奈・西脇健太郎・土屋史紀・村上則幸(農研機構)
A11: 薬用ジャクヤク栽培の農作業改善に関する研究 ○関浩一(つくば牡丹園・東京農工大学大学院)・小松崎将一・長谷川守文(茨城大)	B11: オオムギリリビングマルチを利用したサツマイモの有機栽培(第1報) ○伊藤崇浩(新潟食農大)・柴田誠(京都大)・山中亮・佐藤根妃奈・阿部憲一・趙鉄軍・浅野亮樹・西牧和也・佐藤豊三・居城幸夫・稲本俊彦・本間龍一・伊藤豊彰(新潟食農大)	C11: 車両系農作業ロボットの安全性確保のための技術要件の検討 - ロボットトラクタによるほ場進入路出入り時のリスク分析 ○菊池豊・梅野覚・田中正浩(農研機構革新工学センター)、松島健一(農研機構農工部門)
討論	討論	討論

A会場 座長:庄司浩一	B会場 座長:帖佐 直	C会場 座長:亀井雅浩
A12: 茨城の里山を考える - 祖母の家と祖父が残した栗畑 - ○小張真理子(筑波大学)	B12: 中山間地域における耕作放棄地の適正管理に関する研究 - ロボット芝刈機を用いた管理の提案 - ○田島 淳・吉田 壘・飯島直哉(東京農大)	C12: 主幹形ミカンにおけるコンパクト樹形維持の可能性 ○川崎陽一郎・竹岡賢二・塩田俊(広島総研農技セ)
A13: FAO-SAFAの環境指標を利用した持続可能な農業の評価研究 ○今福梨花・荒木肇(北海道大)・小松崎将一(茨城大)・伊藤崇浩(新潟食農大)	B13: 根部エンドファイトとロボット草刈り機を活用した不耕起・有機農法でのトマト栽培 ○福田真丈・小松崎将一・成澤才彦・野口愛(茨城大学農学部)	C13: スモモジョイント栽培に対応した省力的な受粉装置の開発(第1報) 自走式回転羽毛受粉機の開発と性能評価 ○前田宏美・原 昌生・中野葉子・岡本安祐美(群馬県農技セ)
A14: 加圧熱水処理による作物残渣からのセルロースと養分の抽出 ○櫻井俊輔(東京農工大)・東城清秀(東京農工大)・帖佐直(東京農工大)	B14: Robotic mower reduces human workload and increases profit in a pear orchard ○Muhammad Zakaria Hossain (TUAT)・Korenari Takahashi・Masakazu Komatsuzaki (Ibaraki University)	C14: 傾斜果樹園における作業支援を目的とした電動作業台車兼運搬車の開発 ○中村篤人・飯田賢一・土井滋貴・大谷真弘・芦原佑樹・岩田大志・福岡寛・須田敦・柳澤佑太・松浦亮太(奈良高専)・安藤正明(奈良県農業研究開発センター)・笹岡元信(三晃精機)
A15: 土壌診断に用いる土壌試料採取のための省力型採土器の開発 ○中山秀貴・安達祐介(福島県農総セ)・齋藤 智則(大起理化学工業)	B15: 除草作業地の条件がロボット芝刈機の除草効率に及ぼす影響 ○好野奈美子・金井源太(農研機構・東北研)	C15: 加工用トマトの果実離脱特性 - 落果曲線の年次変動と振落し加速度 - ○石井耕太・梶山努・木村義彰・吉田邦彦(道総研中央農業試験場)
A16: サトイモ収穫技術の開発(第2報) ○鈴木渉・大森弘美・千葉大基・大西正洋(農研機構革新工学センター)・江尻径史(宮崎総試)	B16: 移動軌跡を利用した作業評価手法に関する研究(第3報) - GNSSデータロガー - ○建石邦夫(農研機構)、古渡拳人(茨城県農業研究所)	C16: 農作業計測におけるノウハウの共有の必要性についての再考 ○長崎裕司(農研機構本部)
討論	B17: 国産コンバインでのスナッパヘッド利用 ○金井源太・篠遠善哉・山下善道(農研機構)	討論
討論	討論	討論

公開テーマセッション: 農福連携: 障がい者が輝く新しい農作業

司会: 小松崎将一
 挨拶: 茨城県農林水産部 農業経営課
 T2-1: 精神科リハビリテーションと園芸療法 ○山川百合子(茨城県立医療大学附属病院)
 T2-2: 農業における障がい者雇用 事業継続に向けて見えてきた課題 ○豊原憲子(大阪府立環境農林水産総合研究所)
 T2-3: 我が事・丸ごと地域共生社会における農福連携の意義と課題 - 社会福祉現場での実践より - ○林典生(南九州大学環境園芸学科)
 T2-4: 農福連携の取り組み ○木村誠(株式会社HATAKE カンパニー)
 総合討論